



広報

YUYU

平成元年

開基90年
記念号

No.223

利尻町開基90年記念式典



おもな
内容

- 2 …… 利尻町開基90年記念にあたって
- 3 …… 開基90年記念式典挙
行
21世紀への発展を誓う
- 4～7 …… 永年の功績を讃えて
開基90年記念功労者表彰
- 8～10 …… 写真で見る90年の歩み
- 11 …… 開基90年記念祝賀会
盛大に行なわれる
- 12～13 …… 輝く開基90年～記念行事・協賛行事
- 14 …… 町民憲章・防犯の町宣言

利尻町開基九十年記念にあたって

利尻町長 保野力雄



ました。

利尻町の生い立ちはずいぶん遠く明治にさかのぼり、沓形が明治三十二年七月駕泊村から分村独立して沓形村となり、仙法志は翌三十三年七月鬼脇村から分離して仙法志村となり、それぞれ戸長役場が設けられ開村しました。

明治三十五年四月両村とも北海道二級町村制を施行、沓形村は大正十三年四月一級町村制を實施し、昭和二十四年十月町村制を経て、昭和三十一年九月十五日沓形町と仙法志村が対等合併して、ここに利尻町が誕生し、今日に至っております。そして本年、輝く歴史を秘めて記念すべき開基九十年を迎え

ここに、遠く内地より移住し、北海の厳しい荒波と闘いながら漁場を開発し、厳寒のうっそうたる未開の山野に開拓の斧をふるい、風雪に耐え、不便な生活に堪えながら島を開拓してきた多くの先人の不撓不屈の精神と功績に対し、深甚なる感謝の誠を捧げます。

私は、この意義ある記念すべき年を迎えるにあたり、過去の歩みを顧みるに留まることなく、来るべき次代に今日までのためまざる歩みを、どう活かして行くかを町民みなさんとともに考える必要性を強く感じております。

まちづくりの一步をこの地に

しるしてから九十年、明治、大正、昭和を経て、そして平成元年。利尻町は、明日への飛躍を念願し第三次総合振興計画を策定しました。これまでの尊い遺産を礎として、歴史ある大いな

る道を、私たちがさらに未来につなげる確かな道として子々孫々に引き継がねばなりません。二十一世紀に向けて、さらに

厳しい試練が待ちうけているものとありますが、これまで培ってきた伝統の力をもって艱難を乗り切り未来に続ける

くらしの豊かな町づくり

明るく住みよい町づくり

明日を拓く人づくり

に向かって全力を挙げて取り組む決意であります。

最後に、各功労者として顕彰

された各位のご苦勞、ご功績に対し深く感謝の意を表します。

どうかみなさま、この佳き日を契機とされ利尻町がさらに発展されるよう一層のご協力をお願い申し上げますとともにみな

さまのご健勝を心からお祈りいたします。



決意表明

利尻町振興の決意を新たに

利尻町議会議長 加藤孝二郎



てこの利尻町を築いてこられた町民みなさまのご苦勞にほかならなく、このことに心からの敬意を表し感謝を申し上げます。

最北の離島という厳しい自然環境にあつて、水産業を基盤としながら、町民一丸となつて、あらゆる分野に精励し、発展をして参りましたが、開基九十年の年として、この尊い先人の偉業を礎に二十一世紀に向けての利尻町を築くことが、今私たちに課せられた大きな責ではないかと思ひます。

利尻町は、開基以来九十年の意義深い記念の年を迎え、私たちは、このうえない感動と、歓喜に溢れております。

郷土利尻は、近年地域整備が急速にすすめられ、産業、生活基盤の充実をみており、さらに交通網の整備により力強い飛躍と発展が約束され、将来の栄光に向かって躍進しようとしております。

今日の発展には、先人の大いなる開拓精神による血と汗にまみれた、たゆみない努力と、その開拓魂を継承され、営々とし

共最大限の努力をいたし、理想郷建設のため、限りなく前進する決意をここに表明いたします。

平成元年八月二十七日

開基90年記念式典挙行

21世紀への発展を誓う

利尻町開基九十年記念式典は八月二十七日午後二時より利尻町民センターにおいて町内外の関係者三百八人が出席して挙行され、開基九十年の輝やかしい発展の歴史を祝うと同時に、二十一世紀へ向って発展することを誓いあいました。

式典は糸谷助役の閉式のことばで始まり、君が代を斉唱したあと先人の偉業を讃え、そのみたまに對し黙とうをささげ、その後沓形・仙法志中学校の代表生徒五人の朗読に合わせ、全員が町民憲章を唱和しました。

次に保野町長が式辞を、加藤町議会議長が決意を表明し、町



式辞を述べる保野町長

の発展に大きな役割を果たした故小島町長をはじめ叙勲受賞者、高額寄附者計十三名が感謝状を自治功労者加藤孝三郎氏ら七部門の功労者二百九十二名が表彰を受けられました。

続いて来賓の北海道知事（代理花輪宗谷支庁長）、北海道議會議長（代理湯佐道議會議員）、三浦宗谷町村会長の祝辞をいただき、祝電が披露されたあと、受彰者を代表して浜岸正氏が謝辞を述べ、糸谷助役の閉式のことばをもって開基九十年の記念すべき式典を終了しました。



決意を表明する加藤議長



祝辞を述べる花輪宗谷支庁長



町民憲章朗読
左より沓形中学校・粟池俊平君、松岡さつきさん、保野孝之君、仙法志中学校・高橋香寿美さん、木村協君



受彰者を代表して謝辞を述べる浜岸正氏



祝辞を述べる三浦宗谷町村会長



祝辞を述べる湯佐道議會議員

永年の功績を讃えて

8月27日記念式典で表彰

開基九十年記念

功 勞 者 表 彰

開基九十年を記念して、町政の振興発展に寄与された十三名が感謝状及び記念品を、また自治、産業、教育文化、社会福祉、保健衛生、防災、開拓の各分野で郷土の発展に貢献された二百九十二名の方々が表彰を受けられ、永年の功績が讃えられました。



感謝状を受ける
元利尻町長(故)小島光男氏夫人



感謝状を受ける
叙勲受賞者山本実治氏



感謝状を受ける
高額の寄附者株式会社中田組

《感謝状》

(敬称略、順不同)

元利尻町長
(故)小島光男

叙勲受賞者
(故)山本実治

(故)小林貞彦

(故)松野義次

(故)寺嶋三治

(故)板木健三

(故)村坂善司

(故)藤井義幸

高額の寄附者
株式会社中田組

自治功労者

(議会議員、公平委員会委員、
監査委員、港湾漁港審議会委員、
農業委員、自治会長、納税貯蓄
組合長、統計調査委員)



自治功労者表彰を受ける
加藤孝三郎氏

牧 惣 不 岡 原 高 大 越 町 谷 西 浜 加
野 万 破 山 崎 島 腰 智 村 口 島 岸 藤
吉 惣 竹 光 金 幸 松 孝
太 治 郎 力 司 稔 雄 正
郎 市 保 勇 治 夫 郎 三 郎

(故)

安 田 本 成 兼 寺 齊 後 嵯 山 不 菊 宮 吉 大 齊 竹 牧 米 荒 田 酒 岩 関
田 中 江 田 田 嶋 藤 藤 峨 本 破 池 崎 田 山 藤 島 野 田 木 中 井 島
清 金 正 賢 祐 吉 保 秀 清 安 甚 文 武 吉 三 健 金 信 秀 直
二 作 昇 寛 勝 次 吉 春 郎 雄 保 七 郎 忠 松 雄 雄 郎 郎 三 作 造 夫 郎

柏 松 安 鈴 澤 伊 柴 加 齋 鈴 宮 久 大 石 杉 峨 酒 平 福 寺 菊 大 安 小 藤 峨 志
原 野 井 木 谷 藤 田 藤 藤 枝 田 田 山 倉 田 家 井 野 田 嶋 池 友 田 坂 田 家 摩
惠 澤 育 義 啓 政 刀 一 廣 甚 寅 衆 信 正 順 賢 清 和 清 市 長 衆
明 満 一 実 郎 雄 勝 治 一 一 志 市 松 夫 茂 郎 造 一 一 次 七 夫 二 藏 利 郎 進

産業功労者



産業功労者表彰を受ける
寺崎政美氏

齊 町 田 平 白 寺
藤 村 中 等 幡 崎
照 芳 清 茂 政
彦 一 正 吉 郎 美

田 角 大 川 宮 宮 檜 佐 藤 岩
原 谷 窪 村 道 下 山 藤 田 島
陽 明 松 周 義 昭 利 吉 武 栄
一 男 夫 吉 之 一 夫 實 利 吉

教育文化功労者

(教育委員会委員、社会教育委
員、体育指導委員)



教育文化功労者表彰を受ける
石倉真実氏

社会福祉功労者

(民生児童委員、特別功労者)

菊 戸 三
池 部 浦
キ 勝 敬
ク 子 子
エ 子 子

佐 砂 高 志 清 石
藤 田 島 摩 水 倉
健 京 光 章 寅
三 子 子 進 延 夫

三
輪
博
久



保健衛生功労者表彰を受ける
三輪博久氏

(医師、国保運営協議会委員)

保健衛生功労者

金 土
田 田
幸 義
子 男



社会福祉功労者表彰を受ける
三浦敏子氏

田多浜柳佐浜鈴金
々々
村見辺谷藤口枝田
吉一 忠光 刀幹
藏夫満男雄孝一男



防災功労者表彰を受ける
金田幹男氏

(消防団員、水難救済会所員)

防災功労者

菅茶大石浜佐
原谷門倉岸藤
正武寅 健
馨義雄夫正三

玉田鈴三柏小五藤藤西牧三大濱長寺沢北成高竹脇大川池柴草佐本
十
谷中木盃原杉嵐田井嶋野浦島田田崎田辻田杉内谷窪端原田間藤間

幸日重 勝時武敏正明龍隆将尋政誠末廣正正義松利 時 和
出
隆男博雄明美雄利幸道男二一志美美一松治義人治夫明恒潔良勉二

杉三高西北稻大沢柴高沢沢八小高竹牧川小三浜峨北花門古小高五
本浦松垣村沢澤木田田田木講柳橋島野原坂上田家村田田屋島杉老
憲健三 重昭康利昭 定 正和 武勇 喜一照 信勝俊 昌

一一郎茂松市一一男實雄弘一雄貢美治理一男栄満之利一保慧清實

齊杉落川松西五角高宮田大石加中小田宮草佐中佐池水薦熊藤藤干
之
藤田合端野島治谷寺澤尻高垣藤川泉中下間孝村木端卷森田井野場

鉄孝 利春重富清忠 綱 健俊幸 昭鉄秀鉄伴重 千代 清善庄義勝
千
翠茂雄之満松吉信男吉司代栄一治吉正一男夫也一一 太郎 彦吉二雄二

高 斉 森 和 清 小 沢 福 八 相 町 田 森 原 上 安 佐 菅 三 斉 魚 加 工 長 杉 田 柴 津 古
 村 藤 原 島 野 内 木 原 講 馬 村 原 本 崎 木 宅 藤 原 浦 藤 住 藤 藤 川 浦 鍋 田 田 川
 秀 武 司 正 清 勇 武 正 昭 佳 登 利 秀 正 恒 金 啓 幸 勝 芳 義 和
 弥 正 朗 美 實 一 勇 夫 雄 明 二 郎 幸 保 夫 一 勉 夫 夫 三 郎 治 雄 美 優 一 勝 夫 満

(故)

田 小 田 成 笹 小 馬 齊 吉 齊 村 澤 荒 小 安 石 石 北 吉 前 佐 佐 石 秋 上 米 藤 加
 澤 倉 澤 田 森 谷 場 藤 岡 藤 谷 谷 木 林 藤 橋 垣 島 田 野 藤 孝 田 谷 見 本 野 藤
 邦 啓 政 達 岩 武 友 昭 又 次 寿 澤 健 信 利 欽 秀 吉 友 信 一 正 鉄 照 政
 夫 三 雄 雄 光 雄 治 三 一 雄 夫 郎 三 勇 治 昇 満 治 哉 一 實 一 義 吉 藏 男 勝 一

(故)

大 磯 木 辻 飯 堀 白 神 佐 松 三 西 大 新 堀 佐 成 飯 本 藤 山 稻 本 仲 米 稻 安 長 梅
 山 江 村 田 川 幡 藤 下 市 島 腰 浜 田 藤 田 澤 間 田 崎 沢 堂 條 田 沢 達 田 岡
 光 秀 忠 市 健 茂 利 範 定 芳 磯 金 忠 秀 菊 竹 正 春 芳 良 政 光 力
 雄 春 男 夫 一 互 郎 治 晴 義 松 松 郎 男 雄 雄 郎 義 治 雄 進 栄 一 茂 郎 裕 夫 勇 郎

開拓功労者

牧 惣 福 欠 成 山 柴 峨 岡 町 佐 成 佐 工 加 植 杉 伴 山 岡 夏 田 蔦 野 大 畑
 野 万 原 田 本 田 家 山 村 木 田 藤 藤 藤 山 田 下 田 井 端 森 本 島 宮
 清 キ 政 ハ ミ キ フ 栄 芳 清 正 志 博 静 敏 一 藤 修 昭 浩
 三 ク 藏 ナ エ ン ミ 松 勇 一 實 賢 治 勉 美 年 邦 雄 雄 雄 七 次 勝 二 一 公

伴 酒 町 大 中 角 佐 富 前 大 山 館 畑 坂 大 町 五 堀
 井 村 高 山 谷 藤 山 川 淵 下 崎 中 上 澤 村 老 川
 安 セ ワ コ 兵 ミ み 兼 モ 忠 サ 与 キ ツ タ 金 留
 藏 ツ リ ン 藏 キ わ 藏 ヨ 郎 グ 一 明 エ サ ケ 郎



開拓功労者表彰を受ける
大淵忠次郎氏



上 昭和39年5月沓形大火。

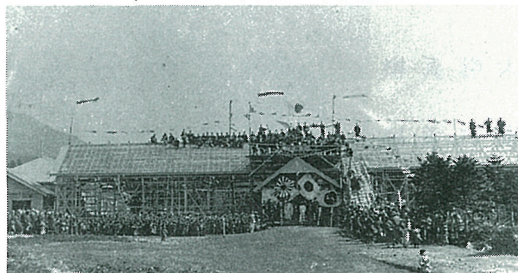
復興始まる。



下 明治33年沓形尋常小学校瑠蘭泊分教場落成。



下 明治40年沓形小学校新築。



下 明治三十三年十二月暴風波浪による
政治地区被災。
漁船、倉庫等も破損流出。

写真で見る九十年の歩み



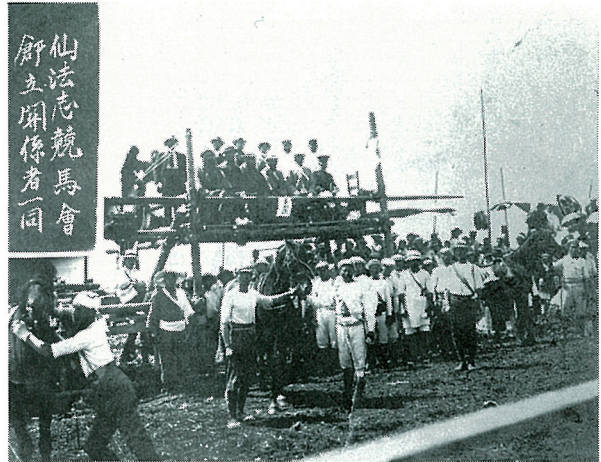
大正6年各地区に結成された消防組。



明治45年5月に建設の沓形図書館と子供たち。

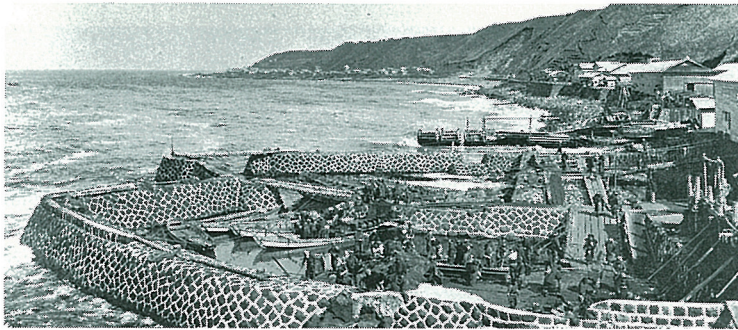


大正9年第1回国勢調査記念撮影。



大正7年から8年に開催された競馬会。島内より約30数頭が集まった。

下 昭和十二年沓形村漁業会の冷凍工場での職員記念撮影。



左 大正時代の平田の袋瀬（現在の久連）。



大正から昭和時代の沓形港。





昭和23年沓形村開村50年記念写真。



昭和16年出征兵士への慰問袋作成記念写真。

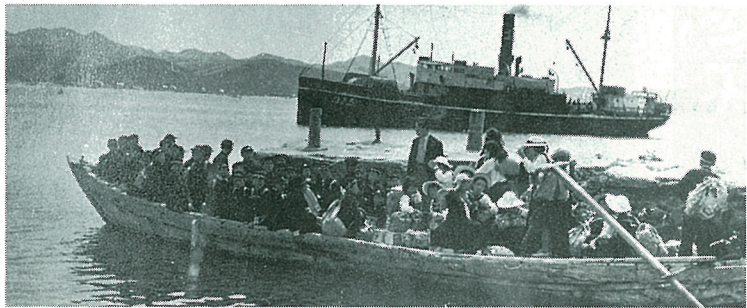


昭和三十年頃の消防出初式に行われた梯子乗り。



昭和三十年頃の盆踊り風景。

昭和二十九年沓形中学校の二年生の礼文旅行出発風景。



昭和四十四年開基七十年式典パレード。

開基九十年祝賀会

盛大に行なわれる

開基九十年記念祝賀会は、八月二十七日利尻町民センターにおいて記念式典終了後引き続き開催されました。

祝賀会は、保野町長のあいさつのあと、安達東利尻町長の乾杯の音頭で祝宴に入り、衆議員議員上草義輝氏と五十嵐広三氏が祝辞を述べ、次いでアトラクションが行なわれ、安達礼文町長の発声により出席者全員で万歳三唱し、終了しました。

アトラクションでは、利尻高校プラスバンド部の演奏、次いでうたごえどんどが時雨音羽作詞の「出船の港」などの合唱を行い、利尻町鯨沖揚音頭保存会が沖揚音頭を演じ、ニシン漁が華やかであったころの漁場の様子を再現するなど、熱演が展開され、会場は祝賀の喜びにあふれていました。



利尻高校プラスバンド部



乾杯をする
安達東利尻町長



うたごえどんどのコーラス



万歳をする
安達礼文町長



利尻町鯨沖揚音頭保存会による沖揚音頭



時雨音羽展 7/1~8/24

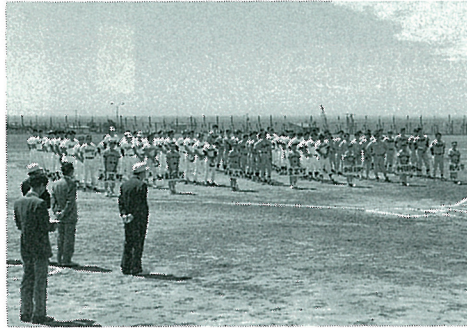
輝く開基90年

記念行事・協賛行事

時雨音羽展は7月1日より8月24日まで利尻町立博物館で展示されました。また、8月27日には開基90年記念式典の会場である町民センターロビーにも展示されました。

第26回宗谷管内市町村対抗軟式野球大会は7月29日・30日の2日間にわたって利尻町野球場を会場として開催されました。

大会は管内より7チームが参加し、トーナメント方式で熱戦がくりひろげられ利尻町チームが見事優勝を果しました。



第26回宗谷管内市町村対抗軟式野球大会 7/29・30



写真で見る利尻90年の歩みは7月1日より8月24日まで役場・公民館・信金利尻支店の各所にそれぞれ展示されました。

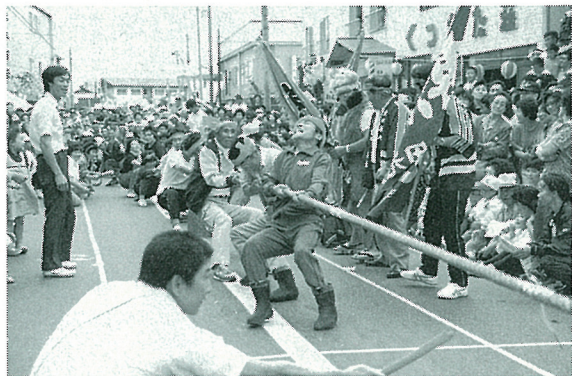
また、町民文化展示会においても展示されました。



写真で見る利尻90年の歩み 7/1~8/24



自治会対抗綱引大会 8/12



自治会対抗綱引大会は8月12日、杓形市街地において町内各自治会より23チームが参加しておこなわれました。会場には約2千人の観衆が集まり大熱戦の末、新湊Bチームが優勝の栄冠に輝きました。



花火大会 8/12



開基90年記念市内パレード 8/27

8月27日、仙法志地区・沓形地区において、沓形小学校鼓笛隊・仙法志小学校鼓笛隊・利尻高校プラスバンド部による市内パレードがおこなわれました。

町民文化展示会 8/27・28・30・31

町民文化展示会は8月27日・28日、総合研修センターで、8月30日・31日公民館で開催され日ごろから丹精こめて作られた自慢の作品や町内小中学校の児童生徒の作品などが訪れた人々の目をひいていました。



自治会対抗ソフトボール大会 9/3

9月3日、利尻町運動広場において町内各自治会より15チームが参加し、ソフトボール大会がおこなわれました。

試合は各チーム死力を尽しての熱戦がくりひろげられ、日出町2チームが泉1チームを10対8で破り優勝しました。

＝その他の協賛行事＝

- りしり浮島まつり(8/5・6)
- 歌謡ショー(8/8)
- 町内ゲートボール大会(9/10)
会場／運動公園
- 道民スポーツバレーボール大会(9/17)
会場／利尻町研修センター
利尻高校体育館

利尻町民憲章

わたくしたちは、秀麗たぐいなき利尻富士がそびえ、礼文島を対岸に望むわが国最北端の利尻町民であります。

わたくしたちは、このうつくしく、きびしい自然の中で豊かな、住みよい町をつくることに、ほこりと責任を感じて、この憲章をきめます。

- 一、元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
- 一、自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 一、未来をつくる、子どものしあわせなまちをつくりましょう。

昭和44年12月20日制定

町章

昭和43年5月1日制定



遠く沖の方からさか巻く波間に見える秀麗利尻山を表現したもので、北の最果てのきびしい自然条件と、「一円融合の和」を表徴したものです。

町名の由来

利尻とは、アイヌ語の「リイシリ」から来たものです。「リイ」は高い山、「シリ」は島の意で、即ち高い山のあがる島ということです。

町の花・木・鳥

<p>町の花</p>  <p>チシマザクラ</p>	<p>町の花</p>  <p>エゾカンゾウ</p>
<p>町の木</p>  <p>ハイマツ</p>	<p>町鳥</p>  <p>リシリコマドリ</p>

昭和54年7月19日指定

防犯の町宣言

私たちの日常生活が平穏かつ安全で、しかも秩序ある町勢の発展は利尻町民共通の願いである。

近年における社会情勢は複雑多様化し、町民生活を侵害する各種犯罪は増加の傾向にあり、まことに憂慮に堪えない現状となっている。

このときにあたり、町民の安全と幸福を願い、自主防犯意識を高め青少年の非行を防止し、明るく住みよい地域づくりを進めるため町民一致のもとに「防犯の町」を宣言する。

平成元年3月10日宣言